

2018年5月28日
凸版印刷株式会社

凸版印刷、レンジ対応の冷食用紙容器

電子レンジ対応の冷凍食品向け紙製一次容器「レンジで楽チントレー」を開発、
全面に美粧性の高い印刷が可能で店頭での高級感を演出

凸版印刷株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:金子眞吾、以下 凸版印刷)は、冷凍食品向け電子レンジ対応紙製一次容器「レンジで楽チントレー™」を開発しました。高付加価値の冷凍食品容器として、食品メーカーやコンビニエンスストア向けに2018年6月上旬から販売を開始します。

「レンジで楽チントレー」は、冷凍食品を購入した状態のまま電子レンジで加熱できる紙製一次容器です。現状使用されているプラスチックや紙製の深絞りトレーと異なり、容器の側面を含めた全面に美粧性の高い印刷が可能であることに加えて容器本体の印刷面積が広いこと、加飾表現や法的表示のための外袋や外箱が必要ありません。また、フタ材は独自開発の開封構造により、密閉性と開封しやすさの両立を実現しました。



「レンジで楽チントレー」のサンプル

© Toppan Printing Co., Ltd.

■ 開発の背景

高齢化や女性の社会進出増加といった社会環境の変化により冷凍食品市場は拡大しており、その市場規模は2020年には2017年と比べて20%増え5,000億円を超えると予想されています。その中でも近年、高付加価値な商品が増加しており、今後もさらなる市場の拡大が見込まれています。

従来、冷凍食品の容器形態はプラスチックや紙容器に外袋や外箱などで二次包装されているものが多く、市場拡大に向け、新たな形態の容器が求められていました。

凸版印刷は今回、冷凍食品向けに電子レンジ加熱が可能な紙製一次容器を開発。本製品は容器全面に美粧性の高い印刷が可能のため、店頭での訴求効果向上が期待できます。また、本体の印刷可能面積が広がったことで、外袋や外箱などの二次包装の必要がありません。さらに、フタ材は紙の層間で剥離する独自開発の開封方法を採用しているため、容易に開封できます。

■ 「レンジで楽チントレー」の特長

・美粧性の高い印刷で商品価値を向上

側面を含め、全面に美粧性の高い印刷を施すことが可能なため、商品の訴求力向上が期待できます。また、従来よりも表示面積が広くなり、商品の魅力をより一層アピールできます。

・電子レンジで加熱しても変形しにくい耐熱容器

耐熱強度に優れており、加熱によって容器が変形しにくいいため、そのまま食器としても使用できます。

・開封しやすいフタ材

フタ材は、層間で剥離する独自開発の開封構造により、容易に開封できます。

・石油由来資源の使用量削減で環境配慮に貢献

従来のプラスチックトレイ商品と比較して、石油由来資源の使用量を約 90%削減することで環境配慮に貢献できます。

■ 価格

約 25 円/個 （※寸法:W191×D156×H40mm、10 万個製造の場合。仕様により価格は異なります。）

■ 今後の目標

凸版印刷は「レンジで楽チントレー」を拡販、2020 年度に関連受注も含め約 3 億円の売上を目指します。

* 「レンジで楽チントレー」は、凸版印刷株式会社が登録商標出願中です。

* 本ニュースリリースに記載された商品・サービス名は各社の商標または登録商標です。

* 本ニュースリリースに記載された内容は発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。

以 上